

# 大地



## 子どもを伸ばすためにー学校経営説明会とPTA総会でお話したことー

校長 高秀 愛司

4月16日は、早朝より授業参観のためご来校いただき誠にありがとうございました。お子さんの新学期での学習への取り組みの姿は如何でしたか？ようやく春の日差しを感じるこの頃となりました。

さて、私の経営方針は、「かんどう」のある学校創りです。三つの「かんどう」があります。

一つは、子ども達に感動を与える学校です。子ども達に学ぶ楽しさやわかる喜びを提供できる学校を創りたい。それとともに教職員は、子ども第一（子ども重視・子どもの側に立った）の教育にあるという姿勢を通して地域・保護者に感動を覚えられる学校を目指したい。「挨拶」の「挨」は相手に迫り、「拶」は心を開くという意味があります。心を開いて相手に迫ることのできる「挨拶」の実践を通して、心を耕す教育活動の中心に据え、感動を伝える学校を経営の基本とします。

二つ目は、教職員が「歓働」を共有する学校です。子ども達の教育のために心身ともに歓びに溢れ出た働きのできる「歓働」を持つ教職員集団の学校を目指します。

三つ目は、地域や保護者、教職員の「汗動」に支えられた学校です。多くの期待や願いを真摯に受け止め、地域や保護者から信頼され、子ども達のために労を厭わず汗を流し動いていただき多くの協力体制に支えられた学校を創りたいです。

そして、次のような学校の課題を設定しました。それは、「自己有用感に裏付けられた自尊感情を持つ子どもの育成～一人ひとりが主役である東小の子・感動・歓働・汗動のある学校～」本校の児童、一人ひとりには可能性を秘め、どの子も成長することに対して貪欲に伸びたいという願望を持っています。しかし、自分への自信のなさや他者から認められているという意識が薄いです。そこで、学校では我々教師が一丸となって、学校の主役は一人ひとりの子どもであると言うことを常に意識し、実践することとしました。一人ひとりの子どもが活躍できる場をつくり、今年度は、本校教職員全員で「人から認められている」「人の役に立っている」という子どもの有用感を育むことに全力で取り組んでいこうとしています。「自尊感情」とは自分に対する自己評価が中心であり、「自己有用感」とは自分に対する他者からの評価が中心となります。他者の存在を前提にしない「自己評価」は、社会性に結びつきにくく、自己中心的になりがちです。それだからこそ「自己有用感」に裏付けられた「自尊感情」を育むことが求められています。

私は、子どもというのは、「身の程知らずに伸びたい人」だと思えます。いくつであっても、伸びたくて・伸びたくて・・・勉強ができない勉強が嫌いという子も伸びたいという精神において、希望に燃えている、その塊が子どもだと思っています。その子どもをのばすために、最も重要なことは何でしょうか。それは、学校と家庭が「信頼し合う」ことです。今の時代、「信頼し合う」のは難しいことのように思われるかもしれませんが、しかし、実は、簡単なことなのです。

学校では、子どもたちに「家庭ではお父さんやお母さんの言うことを聞きなさい」と繰り返し話しています。家庭では、子どもたちに「学校では先生の言うことを聞きなさい」と繰り返し話してほしいのです。これで、子どもたちには、学校では先生の言うことを聞き、家庭では保護者の言うことを聞く、と言う意識が芽生えてきます。

しかし、家庭で学校や先生の批判をしたらどうなるでしょうか。子どもたちは、学校で誰を信じていいか、わからなくなってしまいます。学校で学ぶ内容が心に届かなくなってしまうのです。これでは、子どもが伸びるはずがありません。

学校では、「家庭ではお父さんやお母さんの言うことを聞きなさい。」、家庭では、「学校では先生の言うことを聞きなさい」と言う。このたった一言の言葉が、学校と家庭の信頼関係を築き、子どもを伸ばすのです。

もし、学校や学級担任に対して疑問に思うことがあった場合には、子どもの前で言うのではなく、遠慮なく校長の私まで申し出て下さい。どのような話に対しても聞く耳を持っているつもりです。校長が責任をもって解決することをお約束します。

子どもを伸ばすためにもう一つ大切なことがあります。それは、学校と家庭で「叱る基準を共有する」ということです。基準がばらばらだったら、学校では叱られたのに、家庭では叱られない(逆の場合もある)と言うことが起こります。これでは、子どもたちは何を行動の基準にすればよいかわからなくなります。しかし、「叱る基準を共有する」ことによって、子ども達の行動の基準ができあがってきます。「叱る基準」として提案したいのは、次の三つです。

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>① 人の不幸の上に自分の幸せを築こうとする行動 (いじめ行為はその典型)</li> <li>② 命を大切にしない行動</li> <li>③ 同じことを三回注意されても改めようとしない態度</li> </ul> |
|---|

叱る時には、この三つの中のどれなのかを問いかけましょう。そうすることによって、子どもたちは、なぜ叱られるのかを納得するようになります。この三つの基準を共有して、子ども達を伸ばしていきましょう。

子供たちの学びたい、伸びたいという意欲を私たち教職員と保護者の皆様で支援する活動がPTA活動でもあります。本日のPTA総会では、大曲東小学校の伸びたい・学びたいという子どもたちを大きく成長するために、教職員と保護者がともに手を取り合っ、今年度のPTAの活動方針を確認する場であります。

P T A 活動の究極の目的は、子どもの健全育成のために教師と保護者の共有の願いを具現化するところにあります。しかし、P T A 活動を難しく考え過ぎると参加する方に偏りがあったり、負担感を感じたりするものとなってしまいます。できることを一つだけでも参加する、そのことが結果的に子供たちのためになったということになればいいと思います。むしろ、親や教師、つまり大人が学びたい・伸びたいというプラス思考の気持ちで取り組めばいいのではないかと思います。大人が大人自身の成長のための、情報交換や交流の場であるところがP T A であると考えればよいのではないかと思います。そして、P T A 活動そのものが自分たちの住む地域の活動につながっていると考えれば大きな意味のある活動になっていると思います。本年度の総会に当たって、子供たちの大きな成長につながっている本校P T A 活動のご支援をお願い申し上げ一言ご挨拶と致します。



## 5月のカレンダー

日	曜日	校内行事・対外行事等	給食	相談員
1	日			
2	月	P T A 役員会① グラウンド設計① 朝のちょいスポ(高)	○	◎
3	火	憲法記念日		
4	水	みどりの日		
5	木	こどもの日		
6	金	開校記念日 給食費振替日		
7	土	石P連総会		
8	日			
9	月	B日課5時間授業 全校朝会① グラウンド設計② 集団下校訓練会議・下校訓練(放課後) 交通安全指導日③ 校内作品展(~20日)	○	◎
10	火	避難訓練(不審者2校時) 朝のちょいスポ(中)	○	
11	水	B日課 内科検診(1・3・5年12:45~) PUT(国語)	○	◎
12	木	1・2年参観日 前期児童総会 4年ブックトーク 朝のちょいスポ(低)	○	
13	金	5・6年参観日 5年ブックトーク	○	
14	土			
15	日			
16	月	なかよし参観日	○	◎
17	火	3・4年参観日 1・3・5年歯科検診	○	
18	水	B日課 尿検査① PUT(算数)	○	◎
19	木	2・4・6年歯科検診 P T A 春の環境整備作業 ともだちアンケート① 6年ブックトーク	○	
20	金	児童委員会④ 実行委員会① 交通安全教室(1・2年) P T A クラス担当・バザー企画係会議 朝の読み聞かせ	○	
21	土			
22	日			
23	月	運動会特別時間割開始	○	◎
24	火		○	
25	水	B日課 実行委員会② P T A 春の環境整備作業予備日	○	◎
26	木		○	
27	金	全体練習① 実行委員会③ 豆次郎移動日	○	
28	土			
29	日			
30	月	全体練習② P T A 場所取り抽選	○	◎
31	火	5時間授業 全体練習③ 実行委員会④	○	

大型連休が始まり、外出の機会が増えることと思います。  
交通事故・水や火の事故等、十分に気を付けてください。

**5月～8月まで帰宅時刻が18時となります。**

### 4月6日、入学式が行われました。



**新1年生83名  
元気いっぱいの入場**



**2年生からの  
歓迎の歌と器楽**

### 土曜参観日・P T A 総会 ありがとうございました

4月16日(土)の土曜参観日、P T A 総会には多数の保護者の皆様にお集まりいただき、本当にありがとうございました。今年度も充実した教育活動を展開できるよう、精一杯努めますので、ご理解ご協力の程、どうぞ宜しくお願い致します。

### 雑巾寄贈いただきました

- 大曲ミニバス少年団様
- FC大曲様
- 老人会みどり会様



老人会みどり会の皆様

いつもありがとうございます！